

# 平成28年度岡山大学スーパーグローバル大学等事業外部評価委員会実施報告

## 1. 日時・会場

日時：平成28年6月24日（金）11：30～15：00

会場：ANAクラウンプラザホテル岡山 1F 曲水（西）岡山市北区駅元町15-1

## 2. 外部評価委員（五十音順） ※委員長

キャロライン・ベントン氏	国立大学法人筑波大学 副学長・理事
小長 啓一氏	一般財団法人産業人材研修センター理事長、島田法律事務所 客員弁護士
近藤 誠一氏※	元文化庁長官、近藤文化・外交研究所 代表、外務省参与
鈴木 典比古氏	公立大学法人 国際教養大学 理事長・学長
竹本 和彦氏	国際連合大学サステイナビリティ高等研究所 所長

## 3. 出席者

評価委員：ベントン委員、小長委員、近藤委員、鈴木委員（書面により意見聴取）、竹本委員  
岡山大学：森田学長、谷口理事、阿部理事、許理事、荒木理事、山本理事、宮田理事、槇野理事、  
松川副理事、黒神学長補佐、後藤学長補佐、大塚学長補佐  
陪 席：大学改革推進室（徳山室長、本城主査、堀川室員、藤井室員）

## 4. 講評事項

### [事業全般]

- ・4名の外部評価委員の意見が一致したのは、素晴らしいプランで、意欲的かつ合理的に考え抜かれた内容であるということで賞賛に値する。

### [人事システム]

- ・常勤教員、高度専門職系職員及び有期雇用教員の年俸制の導入拡大は評価できる。
- ・教員の公募要件に教員の外国における職務経験や研修経験を重視している。

### [教育改革]

- ・60分授業4学期制は導入準備の終了、「岡山大学教養教育改革の基本方針」に基づく実践型科目群の策定は、岡山大学の教育構造の変更であり、グローバル化教育への進化と深化をさらに可能にする。
- ・平成30年度までに高年次教養教育科目（3年次以上）を設定することとしているが、リベラルアーツ教育は4年間を通じてなされるべきものであり、この高年次教養教育科目を更に増加、拡充する必要がある。
- ・シラバスの英語化、GPA導入、コースナンバリングの実施等教育科目群の標準化と構造化が進んでいることは教育科目群のグローバル化対策に通じ、英語で提供される科目群の一層の増加と充実が期待される。
- ・（3基幹力）×（3側面）の各要素をポイント化し、一定基準を満たした学生を「高度実践人」として認定する構想は新しい学力評価基準として興味がある。
- ・在籍中の学生の意識変化に対応した転学科・転学部を検討するとあるが、この可能性を図ることはリベラルアーツ教育として重要であるが、転科、転学部の希望理由書等の精査が必要である。
- ・岡山大学の特長と強みとして医療工学分野を強化していることは評価できる。

### [モニタリング・検証]

- ・60分授業4学期制は始められたばかりであるが、今後成果をどのように測っていくのか、効果の検証を進めて欲しい。
- ・外国人留学生の数も増えており、今後もモニタリングによる定量及び定性的なデータ収集と評価に努めてもらいたい。
- ・グローバル人材を岡山から世界にとということで、学生が岡山大学で学ぶと同時に海外で勉強する機会を岡山大学で経験し培われることは非常に重要であると思われるが、様々な要因や、難しい点、応援をしているシステムなどを総合的に分析し、課題や克服すべき点を踏まえ今後の戦略を練っていただきたい。
- ・キャリア開発プロセスの過程について、その後どう発展していくのかといったモニタリングについて、今の段階から早めにトレースの設計や成果の検証方法の検討を始めていただきたい。

#### [予算の確保]

- ・これから実行されようとしていることに対し必ずしも予算措置がなされているとは限らないと思われ、ある程度優先順位を考えて行う必要がある。文部科学省だけでなく内閣府の地方創生、農林水産省、国土交通省などからの予算の確保に努めていただきたい。
- ・どう効果的・効率的に実現するかプライオリティー付けを行い、予算をしっかりと確保する。

#### [大学一丸となった取組]

- ・オール岡大（教職員、学生、OB、関係企業等）で一丸となってSGUの目的達成に向けて議論し努力し意識を継続させることが必要であり、そのような仕組みを是非作っていただきたい。
- ・岡山大学の教職員学生に対し、岡山大学の歴史を振り返ることで、自分達のアイデンティティに自身を持ってもらうような取組をお願いしたい。

#### [地域連携]

- ・優秀な外国人留学生が日本に残れるように産業界等と連携関係を作っていただきたい。
- ・イノベーション関係で銘建工業との取組をはじめ、ベネッセやナカシマプロペラなどの全国規模の企業との新たな連携など検討いただきたい。その上で医療科学連携大学院の設置は一つのきっかけになるのでは。

以 上